

◆◆
エコ通勤メールマガジン 第 27 号(2025.1.16)

発行:エコ通勤優良事業所認証制度事務局
(国土交通省大臣官房参事官(交通産業)及び
公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団(エコモ財団))

◆◆主な内容◆◆

●寄稿、取組み紹介

●第 48 回 EST 創発セミナー in 伊勢〔中部〕【伊勢市、国土交通省中部運輸局、EST 普及推進委員会、エコモ財団】

<https://www.estfukyu.jp/sohatsu77.html>

◆◆目次◆◆ (クリックすると各記事のページにジャンプします。)

1. 寄稿 1(エコ通勤優良事業所認証 制度認証事業所より)

「エコ通勤に向けた藤枝市の取組み」

【静岡県藤枝市 環境水道部 環境政策課】

2. 現在の累計認証登録数

●エコ通勤優良事業所認証登録数

●うち長期継続認証事業所(満 10 年以上)

3. 新規認証登録事業所の取組み紹介

●2024 年 10 月 31 日付けで認証登録された事業所

●2024 年 11 月 29 日付けで認証登録された事業所

●2024 年 12 月 26 日付けで認証登録された事業所

4. 長期継続認証事業所の紹介

●2024 年 10 月 31 日付けで長期継続認証された事業所

●2024 年 11 月 29 日付けで長期継続認証された事業所

●2024 年 12 月 26 日付けで長期継続認証された事業所

5. ニュース／トピックス

6. イベント情報

7. 取組み紹介(エコ通勤優良事業所認証制度認証事業所より)

●「奈良市から始めるエコ通勤」

【奈良市都市整備部交通バリアフリー推進課】

8. 豆知識

●「～九州発の商用 EV(バス・トラック・トライク等)～」

【株式会社千代田コンサルタント 九州支店道路部計画課 課長】

9. その他



1. 寄稿1(エコ通勤優良事業所認証 制度認証事業所より)

「エコ通勤に向けた藤枝市の取り組み」

【静岡県藤枝市 環境水道部 環境政策課】

本市では、環境負荷軽減のため、エコアクション 21 の推進や地球温暖化対策実行計画に沿った取組を行っており、市役所自らが率先してエコ通勤に取り組み、その活動を市内に普及させることを目的として、平成 27 年 8 月の優良事業所認証登録後も継続して職員によるノーカーデーの実践を推進しています。

具体的な取り組みとして、毎月第3金曜日を統一ノーカーデーと定め、全庁をあげてエコ通勤を推進しています。実施前には庁内掲示板へのチラシの掲載を通じた周知や、前日の職員持ち回り庁内放送による呼びかけなどを行い、職員へのエコ通勤の参加を促しています。

また、毎年 12 月の第3金曜日を「藤枝市統一ノーカーデー」と位置づけ、市内事業所にもエコ通勤の実施を呼び掛けることで、市全体での環境負荷軽減にも努めています。

その他にも、平成 30 年 3 月より、第 3 セクターの民間企業がシェアサイクル事業(街なかシェアサイクル)を展開しています。市内各所にステーションが設置され、電動アシスト自転車が通勤の足としても利用されています。市内の回遊性向上に寄与する観光資源として市も事業支援を行っており、ステーション数も徐々に増加しており、令和 7 年 1 月時点でステーションの数は 24 か所、借りられる自転車の数は 70 台にも及び、市内の交通手段の GX 推進の取り組みの一つとなっています。市内のサイクルポートは現在10箇所ですが、更なる利便性向上のため、商業施設やモノレール駅などに設置を計画しており、管理者等と調整を進めています。

利便性の高いシェアサイクルを自動車にかわる交通手段として職員や市役所来訪者が利用することで、市内の渋滞緩和に少しでもつなげ、エコ通勤に資するものと考えています。



↑ チラシは令和 6 年 2 月時点のものになります。

また、市民の自転車利用者の安全を守るため、市民に対しては、ヘルメット購入助成制度を実施するほか、職員に対しても、互助会で交通安全対策用品の項目の一つとして助成しています。

さらに、毎年10月に「バスストリート」と題して、自家用車に比べ環境にやさしい移動手段であるバスの利用啓発イベントを開催しており、市内を走る様々な種類のバスを展示し親しんでもらうほか、バスのぬり絵やクイズを楽しんでもらうことで、移動手段の環境負荷低減への意識醸成を図っています。

2. 現在の累計認証登録数

●エコ通勤優良事業所認証登録数

439件 858事業所(2024年12月31日現在)

●うち長期継続認証事業所(満10年以上)

129件 429事業所(2024年12月31日現在)

※件： 単独申請の事業所数と共同申請の代表事業所数を足しあわせた数

※事業所： 単独申請の事業所数と共同申請の全事業所数を足しあわせた数

●エコ通勤優良事業所認証登録事業所一覧(最新):

http://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/data/ecommuters_sougou_ichiran.pdf

3. 新規認証登録事業所の取組み紹介



直近3ヶ月間に新規認証登録された事業所は、以下の通りです。

(都道府県別に北から順に、また都道府県内にあつては、登録番号順に記載しています。)

●2024年10月31日付で認証登録された事業所

【和田工業株式会社】

□登録番号 09-0076

□栃木県宇都宮市(関東運輸局管轄)

□取組み内容の概要:

- ・パンフレットやメールの配付・掲示
- ・駐輪場の設置
- ・在宅勤務制度の導入

●2024年11月29日付で認証登録された事業所

【株式会社タカヤナギ設備】

登録番号 23-0137

愛知県名古屋市(中部運輸局管轄)

取組み内容の概要:

- ・パンフレットやメールの配付・掲示/公共交通の情報を提供
- ・マイカー通勤の禁止/社内エコ通勤デーを設定
- ・駐輪場の設置/更衣室やシャワールームの設置

【株式会社しがトコ】

登録番号 25-0050

滋賀県守山市(近畿運輸局管轄)

取組み内容の概要:

- ・コミュニケーション・アンケートの実施

●2024年12月26日付で認証登録された事業所

【株式会社ピーシーレールウェイコンサルタント】

登録番号 09-0077

栃木県宇都宮市(関東運輸局管轄)

取組み内容の概要:

- ・パンフレットやメールの配付・掲示
- ・マイカー通勤の禁止/時差出勤制度の導入
- ・駐輪場の設置/在宅勤務制度の導入

【アップデート株式会社】

登録番号 09-0078

栃木県宇都宮市(関東運輸局管轄)

取組み内容の概要:

- ・パンフレットやメールの配付・掲示
- ・在宅勤務制度の導入

【有限会社 柳沼ボデー工場】

登録番号 09-0079

栃木県宇都宮市(関東運輸局管轄)

取組み内容の概要:

- ・パンフレットやメールの配付・掲示/研修会の実施
- ・駐輪場の設置/更衣室やシャワールームの設置

【三水プラント株式会社】

- 登録番号 09-0080
- 栃木県宇都宮市(関東運輸局管轄)
- 取組み内容の概要:
 - ・パンフレットやメールの配付・掲示
 - ・駐輪場の設置

【株式会社山上土建】

- 登録番号 09-0081
- 栃木県宇都宮市(関東運輸局管轄)
- 取組み内容の概要:
 - ・パンフレットやメールの配付・掲示
 - ・駐輪場の設置

【株式会社ティーツーテクニカル】

- 登録番号 09-0082
- 栃木県宇都宮市(関東運輸局管轄)
- 取組み内容の概要:
 - ・パンフレットやメールの配付・掲示
 - ・自転車を会社負担で購入

なお、既に認証・登録済みの事業所のうち、「エコ通勤取組み事例紹介」のご提出があった事業所、あるいは本メールマガジンで取組み内容の概要をご紹介し承認の得られた事業所は、以下のページでご紹介しております。取組みの参考情報として是非ご覧ください。

<http://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/case.html>

4. 長期継続認証事業所の紹介

直近 3 ヶ月間に更新審査を終え、新たに長期継続認証された事業所は、以下の通りです。
(都道府県別に北から順に、また都道府県内にあつては、登録番号順に記載しています。)

●2024 年 10 月 31 日付けで長期継続認証された事業所

□新規認証登録から満 10 年を迎えた事業所

: 通常のリゴマークをブロンズ色で囲んだ「長期継続認証リゴマーク
(満 10 年以上 20 年未満)」を使用できます。



| 登録番号 | 事業所名 | 市区町村 | 登録日 |
|---------|-------------------|--------|-----------|
| 28-0008 | 株式会社西日本ロジスティクス 本社 | 兵庫県三木市 | 2014/4/30 |

●2024 年 11 月 29 日付けで長期継続認証された事業所

□新規認証登録から満 10 年を迎えた事業所

: 通常のリゴマークをブロンズ色で囲んだ「長期継続認証リゴマーク
(満 10 年以上 20 年未満)」を使用できます。



| 登録番号 | 事業所名 | 市区町村 | 登録日 |
|---------|-------|--------|------------|
| 22-0007 | 焼津市役所 | 静岡県焼津市 | 2014/10/31 |

●2024 年 12 月 26 日付けで長期継続認証された事業所

□新規認証登録から満 10 年を迎えた事業所

: 通常のリゴマークをブロンズ色で囲んだ「長期継続認証リゴマーク
(満 10 年以上 20 年未満)」を使用できます。



| 登録番号 | 事業所名 | 市区町村 | 登録日 |
|---------|----------------|--------|------------|
| 19-0002 | 株式会社 山梨中央銀行 本店 | 山梨県甲府市 | 2014/11/28 |

5. ニュース／トピックス

●令和 6 年交通関係優良団体大臣表彰について【国土交通省】

国土交通省は、地域公共交通に関する取組みに顕著な功績のあった団体等を表彰する「令和 6 年交通関係優良団体大臣表彰」の表彰式を 12 月 16 日に開催しました。地域公共交通部門で 5 件、グリーン経営部門で 3 件を表彰しました。

https://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo03_hh_000390.html

●第 48 回 EST 創発セミナーin 伊勢〔中部〕【伊勢市、国土交通省中部運輸局、EST普及推進委員会、エコモ財団】

EST 普及推進委員会とエコモ財団は、環境的に持続可能な交通(EST)の普及推進を図ることを目的に、2 月 18 日に第 48 回 EST 創発セミナーin 伊勢を開催します。今回のセミナーでは、環境的に持続可能な地域交通と観光やその事例に関する講演、伊勢市の取組紹介の後、意見交換を通じて伊勢市での観光の公共交通への転換に向けた今後の展開や、他地域で観光客への意識啓発や地域交通のカーボンニュートラルに取り組む際の課題や解決策などについて議論します。当日及び翌日に現地見学会の開催を予定しています。

<https://www.estfukyu.jp/sohatsu77.html>

●エコ通勤強化月間について【岡崎市】

岡崎市では「おかざきスマートムーブアクション 2024」(公共交通の利用促進及び脱炭素化の推進を図るための取組)を実施しています。

12 月 18 日(水)～20 日(金)16:00～20:00 に JR 岡崎駅改札口正面自由通路で開催された第 42 回駅ナカ横丁では、おかざきスマートムーブアクション 2024 の「エコ通勤強化月間」と連携し、「エコ通勤連携店舗」のポップを掲げた店舗で、購入時にエコ通勤協力証を提示された方に、割引サービスまたは粗品をプレゼントしました。

<https://www.city.okazaki.lg.jp/1550/1551/1040/p041825.html>

●はちのへスマートムーブ通勤に取り組んでいます【八戸市】

八戸市では、全ての市職員を対象に、環境にやさしい通勤を実践する「はちのへスマートムーブ通勤」に取り組んでいます。この取組は、月 1 回以上の公共交通機関、自転車、徒歩、相乗り等、マイカー等を利用しない方法による通勤又は毎日のエコドライブの実践(エコドライブ 10 のすすめのうち 5 つを実施)を目標としています。

10 月 1 日(火曜日)～10 月 31 日(木曜日)は「渋滞緩和」取り組み期間(青森県渋滞対策推進協議会)となっております。スマートムーブ通勤に取り組むことで渋滞緩和を目指しましょう。

https://www.city.hachinohe.aomori.jp/soshikikarasagasu/kankyoseisakuka/gomi_kankyo_pet/2/5/4589.html

●「県内一斉ノーマイカーデー」及び「エコ通勤普及強化月間」の実施について【宮崎県】

宮崎県では、地球温暖化対策として、自動車等からの二酸化炭素排出削減を進めるため、マイカー利用を自粛し、徒歩、自転車や公共交通機関の利用あるいはエコドライブの励行等に取り組んでいただくきっかけづくりとすることを目的に、令和6年度「県内一斉ノーマイカーデー」及び「エコ通勤普及強化月間」を実施しました。

(1)県内一斉ノーマイカーデー

第1回：令和6年6月5日(水曜日)

第2回：令和6年12月4日(水曜日)

(2)エコ通勤普及強化月間

第1回：令和6年6月1日から6月30日まで

第2回：令和6年12月1日から12月31日まで

<https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kankyoshinrin/kurashi/shizen/20240422135926.html>

●こうふエコ通勤デー参加協力事業所が増えました【甲府市】

甲府市では、市の職員が率先して公共交通の利用促進に取り組むため、通勤手段に公共交通の利用を促す「こうふエコ通勤デー」を毎週金曜日に実施しており、平成30年7月には、「エコ通勤優良事業所」に認証・登録されています。

「エコ通勤」の取組を市内の民間事業所等にも拡大し、その浸透・定着を図るため、平成30年8月に、「こうふエコ通勤デー参加協力事業所認定」制度を創設しました。10月7日に新たな認定事業所が増えました。

<https://www.city.kofu.yamanashi.jp/kotsusesaku/ekotsukin.html>

●秋田市内 10月はみんなで渋滞緩和！月間【秋田県渋滞対策推進協議会】

秋田市では、渋滞緩和や温室効果ガス削減を目的とし、環境にやさしい通勤手段への転換を促すために、毎月第4金曜日をノーマイカーデーとして呼び掛けています。特に10月は重点実施月としてより積極的な参加を呼び掛けています。

https://www.thr.mlit.go.jp/bumon/kisya/kisyah/images/101511_1.pdf

●公共交通スマートチャレンジ月間【岩手県】

岩手県では9月21日から10月31日まで日常の生活行動(勤務体系や交通手段等の状況)に合わせて、公共交通(鉄道・バス)と自動車のスマートな使い分けにチャレンジする取組を行いました。

<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/koutsuu/koukyou/1023213.html>

6. イベント情報

※イベントの内容・開催日時が変更になる場合があります。最新の情報は主催者のホームページ等でご確認ください。

●やまなし公共交通フェスティバル

日時:2025年1月25日(土)10:00~15:00

場所:甲府駅北口アシストエンジニアリングよっちゃばれ広場

甲府駅北口ペデストリアンデッキなど

主催:山梨県

<https://www.pref.yamanashi.jp/linear-jks/2019-festival.html>

●わくわく！いばらきの乗りもの大集合！2025

日時:2025年1月26日(日)10:00~16:00

場所:イオンモール土浦 1F 花火ひろば・屋外 C・E 駐車場

主催:茨城県公共交通活性化会議

<https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/kotsuseisaku/chiikikoutsu/2025wakuwaku.html>

●サイクルツーリズムシンポジウム 2024

日時:2025年2月16日(日)12:30~16:30

場所:コラボしが 21 3階大会議室

主催:歴史街道推進協議会、輪の国びわ湖推進協議会

<https://www.biwako1.jp/wp-content/uploads/2024/12/cycletourismsimpo2024.pdf>

7. 取組み紹介(エコ通勤優良事業所認証制度認証事業所より)

●「奈良市から始めるエコ通勤」

【奈良市都市整備部交通バリアフリー推進課】

【背景】

本市は、国際文化観光都市として多くの観光客の来訪があり、世界遺産など観光スポットが集中する市内中心市街地では慢性的な渋滞問題が発生しています。一方で、昨今の公共交通を取り巻く環境の変化から、地域の公共交通の利用が減少し、バス路線の減便や廃止等、公共交通ネットワークの維持が困難になっています。

【エコに対する機運の高まり】

このような背景から、本市ではこれまでエコ通勤への取組を積極的に行ってきたり、令和4年12月、県内2番目のエコ通勤優良事業所として認証を受けました。

また、令和5年9月には、「奈良市ゼロカーボンシティ」を宣言し、「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」を目指し、市民や事業者と連携・協力を行い、脱炭素社会の実現に向けて全力で取り組むことが示されるなど、環境保護への意識が全庁的に高まっています。

【具体的な取組】

今年度は、これまでのエコ通勤の取組を一層強化するとともに、新たな試みも交え更なる促進に努めています。

まず、職員への啓発強化を行っています。毎月20日に実施している「ならマイカーひとやすみデー」について、職員ポータルサイトでの周知をより高めるため、興味を引くトピックスやオリジナルのモビリティマネジメントポスターを掲示するなど、市職員のエコ通勤に対する更なる意識向上のため工夫加えました。職員からの反応も好評なものとなっています。

次年度は職員駐車場の閉鎖も予定されており、職員一人ひとりが通勤手段を見直す機会であると捉え、環境に優しい移動手段へシフトできるよう継続して周知・啓発を実施していきます。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため運用が開始された時差出勤制度や在宅勤務制度は継続及び拡大運用となり、より一層柔軟な働き方を推進し制度を活用する職員の増加も見られます。

さらに、庁舎外構整備に伴い自転車駐輪場をリニューアルし、駐輪台数の増加と駐輪ラックの新設等、利用環境を整備しました。

【エコ通勤優良事業所としての役割】

以上のような取組によりエコ通勤優良事業所としての基盤を一層強化するとともに、市民や市内事業者に対する啓発にも力を入れています。

今年度は市の広報紙である「ならしみんだより」に公共交通の利用促進に関する特集記事を作成しました。

また、モビリティマネジメント施策の一環として、市内事業者へマイカー通勤の実態に関するアンケート調査も実施し、併せてエコ通勤のリーフレット配布やエコ通勤優良事業所の認証に関する案内も行っています。

さらに、今後は持続可能な交通ネットワークの構築のための条例の策定も予定しており、市、市民、市内事業者、公共交通事業者の責務を明確にしながら、公共交通の利用促進に努めたいと考えています。

とはいえ、エコ通勤優良事業所認証を受けている事業所は奈良県内では本市含めて奈良市内の事業所 2 件であり、まだまだ浸透していない状況でもあります。

本市が引き続きエコ通勤優良事業所としての役割を果たし、市内の事業所に対して先進的な事例を示すことができるよう、各取組を着実に実行し、さらなる啓発へとつなげていきたいと考えております。

エコ通勤の取組は、環境保護にとどまらず、市民生活の向上や地域経済の活性化など多方面に寄与すると考えます。持続可能な社会の実現に向け、職員一人ひとりの小さな行動から始め、一丸となって推進してまいります。

【職員ポータル掲示イメージ】

★【周知】公共交通利用促進について

カテゴリー：お知らせ（全職員向け）

差出人：

最終更新者：

掲示期間：2024年11月19日（火）～

職員の皆様へ

毎月20日は「ならマイカーひとやすみデー」

今年度末をもって職員駐車場が利用できなくなりますが、代替の通勤手段はお考えでしょうか？

ぜひ公共交通での通勤をご検討ください。

○近鉄では2024年10月より、24年ぶりの新型一般車両となる「8A系」の運行を開始しました。



近鉄 新型車両「8A系」



近鉄 新型車両「やさしば」



近鉄 車内座席

新型車両中央の乗降扉付近には、ベビーカー・大型荷物対応スペース「やさしば」が1両あたり2か所設置されています。

前向き、横向きのいずれでも着席できる座席と、ベビーカーや大型荷物などのスペースを兼ね備えたもので、床面にはストッパーも設置されています。

また、車内保温用の扉個別開閉スイッチや各車4か所の防犯カメラ、1か所のフリースペースの設置、扉上の大型液晶ディスプレイ設置、

新型走行機器の導入などによって、セキュリティ性の向上、バリアフリーへの配慮、省エネ化の推進を図られています。

「8A系」は今年度中に、奈良線、京都線、橿原線および天理線に48両投入される予定です。

安全と環境に配慮されている新型車両で通勤しませんか？

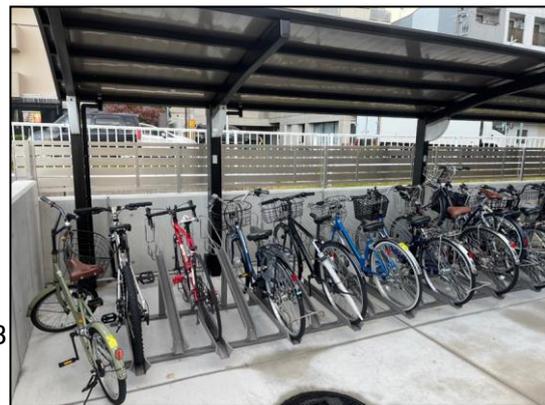
しみんだより12月号にて公共交通利用促進についてが特集されます。

ぜひそちらもご覧ください。

☆ 奈良市はエコ通勤優良事業所として登録されています ☆

交通バリアフリー推進課

【職員用駐輪場のリニューアル】



【広報誌 ならしみんだよりへの特集記事】



【職員オリジナルのモビリティマネジメントポスター作成】



8. 豆知識

●「～九州発の商用 EV(バス・トラック・トライク等)～」

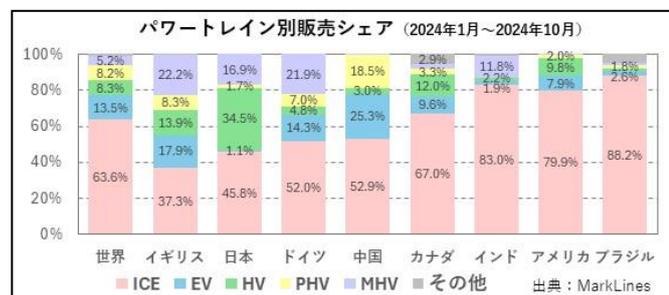
【株式会社千代田コンサルタント 九州支店道路部計画課 課長
日本モビリティ・マネジメント会議(JCOMM)実行委員会 委員 川崎 謙次】

1. はじめに

昨今、世間に定着した「カーボンニュートラル」と、メルマガのテーマ「エコ通勤」を絡めて、こちらも徐々に広がりを見せてきている電気自動車(EV)に関して、私の活動フィールド“九州”での新たな動きについて紹介したいと思います。

2. 各国の EV 販売の動向

2024年1月から10月までの各国のパワートレイン別の自動車販売シェアを見ると、ICE(内燃機関)以外では、欧州や中国でEV普及が進んでおり、一方、日本のEVは1%にとどまっています。



ただ、国土交通省や経済産業省など

は、EV・HV・PHV・MHVなどのいわゆる電動車普及に向けて、次世代技術の開発支援、国内自動車製造拠点や蓄電池生産基盤の強化、インフラ整備や車両購入に対する補助など、自動車GXの実現への取り組みを推進しています。

3. 九州発商用 EV の展開

福岡県北九州市に本社を置く「株式会社 EV モーターズ・ジャパン」は、2019年より商用 EV(バス・トラック・トライク等)に特化した車両の開発・販売をスタートしています。個人的に興味を惹くのは、幅広い車両ラインナップと現在建設中の「ゼロエミッション e-PARK」です。

◇車両の特長

- ・車両(バス・トラック)は独自技術「アクティブ・インバータ」を搭載し、長距離の走行を実現
- ・利用者のニーズに応じ、小型～大型サイズまで幅広く展開
- ・災害時には大容量バッテリーを搭載した非常用電源車として活躍が可能



◇ゼロエミッション e-PARK

・日本初の商用 EV 専用量産組立工場を併設し、EV 技術の発信、新たな地場産業及び雇用創出、地域活性化を目的とした体感型 EV 複合施設「ゼロエミッション e-PARK」を建設中。現在は 1 期工事が完了し、2 期工事へ着工しており、2025 年度の生産開始を目指しています。



最後に、今回は私の地元福岡の取組を紹介させて頂きました。機会があれば EV モーターズ・ジャパンへの視察も兼ねて、福岡の美味しい食もご堪能いただければと思います。

[写真・画像提供：株式会社 EV モーターズ・ジャパン]

9. その他

●総合的な交通体系を目指して総合交通メールマガジンを発行しています！【国土交通省】

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html

●交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！【エコモ財団】

<https://mm-education.jp/mailmagazine.html>

●環境的に持続可能な交通(EST)メールマガジンを発行しています！【EST 普及推進委員会事務局(エコモ財団)】

<https://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

●グリーンスローモビリティに関する情報を掲載しています！【エコモ財団】

https://www.ecomo.or.jp/environment/gsm/gsm_top.html

●「運輸・交通と環境」を発行しています！

(日本語版)【国土交通省監修・エコモ財団発行】

<https://www.ecomo.or.jp/environment/unyukotsutokankyou/index.html>

(英語版)【エコモ財団発行】

<https://www.ecomo.or.jp/english/tej.html>

●エコ通勤・職場モビリティ・マネジメントをはじめとするモビリティ・マネジメントについての各種情報を掲載しています！【一般社団法人日本モビリティ・マネジメント会議(JCOMM)】

<https://www.jcomm.or.jp/>

●記事募集中！【事務局】

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

エコ通勤あるいは職場モビリティ・マネジメント、さらにはそれらと広く関連するテーマ(地域公共交通活性化、徒歩、自転車、地域モビリティ確保など)での取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: ecommuters-news@ecommo.or.jp (担当:内藤)

発行:エコ通勤優良事業所認証制度事務局

(国土交通省総合政策局大臣官房参事官(交通産業)及び
公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団(エコモ財団))

エコ通勤ポータルサイト: https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000073.html

認証制度 HP: https://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters_top.html

<お問い合わせ先>エコ通勤優良事業所認証制度 事務局 メールマガジン配信担当
(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団) 担当 内藤

E-mail: ecommuters-news@ecommo.or.jp TEL: 03-5844-6268 FAX: 03-5844-6294

バックナンバー閲覧: <https://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/mailmagazine.html>

※ 配信先の新規登録・変更希望の場合は、登録事業所名、配信先担当者の所属部署、
役職、氏名、E-mail をお知らせください。ただし、対象は認証登録事業所です。